

(福島県土木部 宛)

要 望 書

《 国道 3 4 9 号 整備 促進 について 》

【平成 2 9 年 1 1 月】

国道 3 4 9 号 建設 促進 期成 同盟 会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、貴県の特段のご配慮により改良整備が進められ、着実にその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であります。その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されており、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大により歩道等交通安全施設の未整備区間において、歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。

さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、国が目指す「一億総活躍社会」の実現には、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓に幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められておりますが、正に国道349号はその機能を十分発揮できるものと我々は期待しております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして災害時における幹線道路等の補完機能を十二分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう強く要望いたします。

国道349号整備促進要望箇所

県名	市町村名	要望番号	要望箇所		事業内容
			箇所名(地名)	延長 m	
福島県	伊達市	①	梁川町五十沢字柴崎地内 ～沼ノ平地内	1,500	道路改良
		②	梁川バイパス	1,290	道路改築
		③	保原町二井田字八百地 ～十二丁目地内	3,100	道路改良 (歩道整備)
		④	保原町字四丁目～赤橋地内	450	道路改築
		⑤	御代田1工区	1,120	道路改築
	川俣町	⑥	大綱木地区	5,000	国道改築
	二本松市	⑦	針道字橋町地区	100	交通安全施設等整備
		⑧	戸沢字六角地区	400	道路改良
		⑨	戸沢字万上地区	200	道路改良
		⑩	東新殿字浮内地区	100	道路改良
		⑪	杉沢字戸ノ内地区	1,000	道路改良
		⑫	杉沢字宮ノ前地区	500	道路改良
	田村市	⑬	船引町荒屋敷地内 ～軽井沢地内	2,000	道路改良
		⑭	大越町牧野字笹ノ町地内	100	交通安全施設等整備 (歩道設置)
	小野町	⑮	谷津作地区	550	歩道設置
	いわき市	⑯	三和町上三坂地区	100	交差点改良
	平田村 古殿町	⑰	平田村檜坂地区 ～古殿町山上字才木草	2,150	道路改良


県名	市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
			箇所名 (地名)	延長 m	
福 島 県	鮫 川 村	⑱	強 滝 地 区	400	道 路 改 良
		⑲	滝 ノ 下 地 区	1,600	道 路 改 良
		⑳	戸 草 ・ 大 竹 地 区	3,000	道 路 改 良
	埴 町	㉑	南 田 代 地 区	2,400	道 路 改 良
		㉒	片 貝 地 区	1,800	道 路 改 良
	矢 祭 町	㉓	小 田 川 2 工 区 (宝 坂)	1,340	国 道 第 一 種 改 良
		㉔	下 関 工 区 (小 田 川 ・ 下 関 河 内 ・ 上 関 河 内)	3,400	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	福島県伊達市	
①	要望箇所	梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	1,500
<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内の区間は、阿武隈川の増水時には冠水によって通行不能となる箇所であり、また、幅員も狭隘で屈曲が続くため、対面交差を行うためには一方が待避所まで後退しなければなりません。</p> <p>つきましては、早急に洪水時にも通行可能となる路線整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>			



要望番号	市町村名	福島県伊達市	
②	要望箇所	梁川バイパス	
		事業内容	道路改築
		延長 (m)	1, 290
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市梁川町市街地を縦貫する本路線は、幅員が狭隘な上、交通量の増大等により朝夕のラッシュ時に限らず、日中においても交通渋滞が発生しております。</p> <p>現在、鋭意、バイパス工事が進められておりますが、工事等に伴う大型ダンプの往来が激しく、依然として危険な状態が続いております。</p> <p>つきましては、梁川バイパスを一日も早く完成いただくよう、強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	福島県伊達市	
③	要望箇所	保原町二井田字八百地～十二丁目地内	
		事業内容	道路改良 (歩道整備)
		延長 (m)	3,100
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市保原町二井田字八百地～十二丁目地区間は、2車線区間で交通量の多い区間ですが、車道並びに歩道の幅員が狭く、また、歩道未整備区間もあるため、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に全線にわたり両側へ歩道を設置されるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福島県伊達市	
④	要望箇所	保原町字四丁目～赤橋地内	
		事業内容	道路改築
		延長 (m)	450
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市保原町字四丁目～赤橋地内の区間は、伊達市の中心市街地に位置し、自動車、歩行者及び自転車の通行量が大変多い区間ではありますが、道路家屋連坦地区のため、現道による改良整備が難しい区間であります。</p> <p>つきましては、早急に代替路線による改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	




要望番号	市町村名	福島県伊達市	
⑤	要望箇所	御代田1工区	
		事業内容	道路改築
		延長 (m)	1, 120
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市月舘町（御代田工区間）は、幅員が狭隘にして歩道も無く、特に大型車両が対面交差を行うためには一時停止を行わなければならないなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>特に、現在、鋭意進められている御代田1工区の改良工事等に伴う大型ダンプの往来が激しく、さらに危険が増した状態が続いております。</p> <p>つきましては、御代田1工区を一日も早く完成いただくよう、強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	福島県川俣町	
⑥	要望箇所	大綱木地区	
		事業内容	国道改築
		延長 (m)	5,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>川俣町の仁井町～大綱木境木間は、幅員が狭隘でカーブが連続しており、また、大型車両の通行も多く、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	




要望 番号	市町村名	福島県二本松市	
⑦	要望箇所	針道字櫛町地区	
		事業内容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	100
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市針道字櫛町は、東和中学校、東和小学校、カントリーパークとうわへの市道及び針道の旧商店街への市道交差点が約 60m間にあり、右折する際に後続車の追突等の事故が懸念されるなど大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に右折レーン等交通安全施設等の整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	福島県二本松市	
⑧	要望箇所	戸沢字六角地区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	400
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市戸沢字六角地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面凍結によるスリップ事故も多発しており、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑨	要望箇所	戸沢字万上地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市戸沢字万上地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため路面が凍結し、自損事故等多発しているなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑩	要望箇所	東新殿字浮内地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市東新殿字浮内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、本年度、道路計画についての説明会が実施されたところではありますが、速やかに工事を施工されるとともに、一日も早く完成いただくよう、強く要望いたします。</p>	




要望番号	市町村名	福島県二本松市	
⑪	要望箇所	杉沢字戸ノ内地区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	1,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市杉沢字戸ノ内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、平成28年度より改良工事が進められておりますが、一日も早く完成いただくよう、強く要望いたします。</p>	




要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑫	要望箇所	杉沢字宮ノ前地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	5 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市杉沢字宮ノ前地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	




要望 番号	市町村名	福島県田村市	
⑬	要望箇所	船引町荒屋敷地内～軽井沢地内	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	2,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>田村市船引町門鹿字荒屋敷地内～新館字軽井沢地内は、幅員が狭隘にため大型車両との対面交差が困難な状況にあります。</p> <p>さらに本区間は、歩道整備がされておらず、特に、軽井沢地内の沿線には小学校があるため、通学中の児童が危険にさらされております。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
⑭	要望箇所	大越町牧野字笹ノ町地区	
		事業内容	交通安全施設等整備 (歩道設置)
		延長 (m)	100
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>田村市大越町牧野字笹ノ町地区は、通学路でありながら、狭隘で車両防護柵もない歩道未設置箇所があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に歩道等交通安全施設等の整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福島県小野町	
⑮	要望箇所	谷津作地区	
		事業内容	歩道設置
		延長 (m)	550
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>小野町谷津作地区は、近隣小・中学校の通学路として利用されているながら、歩道が整備されていない区間があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に歩道を設置いただくよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 い わ き 市	
⑩	要望箇所	三和町上三坂地区	
		事業内容	交差点改良
		延長 (m)	100
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>いわき市三和町上三坂地区にある交差点は、国際物流基幹ネットワークの対象路線である国道49号と交差しておりますが、その交差形状が悪く、国道349号から上り方面の国道49号への左折及び下り方面の国道49号から国道349号への右折において、大型車両の通行が非常に危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に交差点の改良を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 平 田 村 ・ 古 殿 町	
⑰	要望箇所	平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 1 5 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区は、幅員狭隘にして屈曲が続いており、また急勾配でもあるため、特に、大型車両との対面交差が困難な状況にあり、車両交差を行うためには、坂道で見通しの悪い状況下で一方が待避所等まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、現在、改良工事が進められておりますが、一日も早く完成いただくよう、強く要望いたします。</p>	




要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
⑱	要望箇所	強 滝 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		≪現状と要望事項≫ 鮫川村西山字強滝地内は、一部は改良されておりますが、未改良区間は狭隘で急勾配、急カーブが連続しており、特に冬期間においては、路面凍結によるスリップ事故が多発するなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。	



要望番号	市町村名	福島県 鮫川村	
⑱	要望箇所	滝ノ下地区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	1,600
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>鮫川村赤坂東野字滝ノ下地内は、幅員が狭隘で屈曲が続いており、普通車両同士の対面交差も容易ではなく、接触事故が多発しております。</p> <p>また、本区間は、幼児バス・スクールバスが運行されている路線でもあり、これら大型車両との交差を行うためには、一方が民家の入口などに移動しなくてはならないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
⑳	要望箇所	戸 草 ・ 大 竹 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	3, 0 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>鮫川村赤坂東野字戸草地内は、幅員が狭隘の上、屈曲が連続する俗称「つづらおり」区間であり、接触事故が多発しております。</p> <p>また、スクールバス等大型車両との対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、普通車同士であっても路肩、あるいは側溝掛蓋の上を利用しなければ交差が出来ないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	福島県 塙町	
㉑	要望箇所	南田代地区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	2,400
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>塙町南田代地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならない、歩行者・車両通とも大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 埴 町	
㉔	要望箇所	片 貝 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 8 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>埴町片貝地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
㊸	要望箇所	小田川2工区 (宝坂)	
		事業内容	国道第一種改良
		延長 (m)	1, 340
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>矢祭町小田川2工区は、通学路、バス路線となっておりますが、人家が密接しているため幅員が極めて狭く、また、カーブも多いため、大型車両が交差を行うためには、一方が一旦停止しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>また現在、本区間ではバイパス路線が暫定的に工事されておりますが、未だ未供用であります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
②④	要望箇所	下関工区 (小田川・下関河内・上関河内地内)	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	3, 4 0 0
		≪現状と要望事項≫ 矢祭町を通る国道349号は、茨城県側の常磐自動車道那珂ICと福島県南部を結ぶ路線として、さらには福島空港や会津・県北地方の観光地へのアクセス道路として重要な路線であります。 特に、平成13年に茨城県側が全線整備されてからは、大型車両の通行が増加しておりますが、矢祭町下関工区は、大型車両同士の対面交差が難しく、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備を図られるよう、強く要望いたします。	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	小 川 春	樹 (茨城県 日 立 市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田 秀	利 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	本 田 仁	一 (福島県 田 村 市 長)
	新 野	洋 (福島県 二 本 松 市 長)
	佐 藤 金	正 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市